

| | | | |
|---|---|------------------|-------------------|
| 科目コード／科目名 (Course Code / Course Title) | DA311／相互行為論 (Theories of Social Interaction) | | |
| テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle) | 相互行為の秩序を記述する方法 | | |
| 担当者名 (Instructor) | 上谷 香陽(UETANI KAYO) | | |
| 学期 (Semester) | 秋学期(Fall Semester) | 単位 (Credit) | 2単位(2 Credits) |
| 科目ナンバリング (Course Number) | SOC3210 | 言語 (Language) | 日本語 (Japanese) |
| 備考 (Notes) | | | |

授業の目標(Course Objectives)

相互行為論の視点を理解し、「あたりまえ」を問い直す姿勢を身につけて、相互行為秩序に着目して自分の日々の生活を社会的に考察できるようになる。

This course enables students to understand a sociological perspective on social interactions, and to acquire the attitude of reconsidering the taken-for-granted and to sociologically examine our everyday life in terms of interaction-order.

授業の内容(Course Contents)

この授業では、相互行為に着目して日々の生活を社会的に考察するための1つの視点を解説します。社会は、人々が互いに交わす様々なやりとりや会話、すなわち相互行為をととして成立していると考えられます。ここで相互行為とは、発話のみならず、また意識している、していないにかかわらず、身体をもって存在している二人以上の人の間に生起していることの全てを指します。自分以外に少なくとももう一人居合わせている場面で、たとえ互いに見知らぬ人同士であったとしても、私たちは常に一定のやり方で相互行為を行っています。しかしこのことは通常、あたりまえのこととして、問われることはありません。授業では、街、駅、バス、電車、飲食店、コンビニ、教室などで、他者と実際に行っている相互行為に着目します。「見られているが気づかれていない」相互行為の秩序を題材に、私たちが日々生きている「社会」のあり方について考察する方法を解説します。

This course explicates a sociological perspective to examine our everyday life in terms of social interactions. Society can be considered to consist of interactions such as various exchanges and conversations people have with each other. The interactions here refer to not only talks but also everything that occurs between two or more persons who are whether consciously or not present with their bodies. We always interact in a certain way when we are co-present with at least one other person than me even if he is a stranger to me. But this is usually not a question taken-for-grantedly. This course focuses on interactions with each other people actually have in a street, in a station, in a bus, in a train, in a restaurant, in a convenience store, in a classroom and so on. This course explicates a sociological way to examine the way we live daily in a "society" in terms of "seen but not noticed" interaction-order.

授業計画(Course Schedule)

1. 授業ガイダンス
2. 電車の中で起こっていること: 予習課題1(観察):「電車の中で起こっていることを観察し、それを見ていない人にも分かるように報告しなさい」800~1000字
3. 「社会」とは何か: 予習課題2(文献):『翻訳語成立事情』(「まえがき」と「社会」)
4. 社会学とは何か: 予習課題3(文献):『クロニクル社会学』(序章「社会学への招待」)
5. 社会的な「自我」: 予習課題4(文献):『コミュニケーション・入門』(2章「自我とコミュニケーション」)
6. 相互行為秩序とは何か: 予習課題5(文献):『相互行為の社会心理学』(5章「相互行為における秩序と身体」)
7. 相互行為秩序を考察する方法(1)焦点の定まらない相互行為の事例分析: 予習課題6(観察):「予習課題5をふまえ相互行為の実例を見つける」800~1000字
8. 相互行為秩序を考察する方法(2)焦点の定まった相互行為の事例分析: 予習課題7(観察):「予習課題5をふまえ相互行為の実例を見つける」800~1000字
9. 相互行為としての「会話」(1)会話の順番交代: 予習課題8(文献):『エスノメソドロジー』(「会話における順番交代」「行為の連鎖」)
10. 相互行為としての「会話」(2)成員カテゴリー化装置: 予習課題9(文献):『エスノメソドロジー』(「成員カテゴリー化装置」「カテゴリーと結びついた活動」)
11. 相互行為としての「会話」(3): 会話の順番交代・成員カテゴリー化装置の事例分析: 予習課題10(観察):「予習課題8、9をふまえ相互行為の実例を見つける」800~1000字
12. 「教える／学ぶ」という相互行為(1)教育の相互行為とは何か: 予習課題11(文献):『コミュニケーションの社会学』(12章「教育というコミュニケーション」)
13. 「教える／学ぶ」という相互行為(2)教育の相互行為の事例分析: 予習課題12(観察):「予習課題11をふまえ相互行為の実例を見つける」800~1000字
14. 相互行為論を学んで: 予習課題13(授業のまとめ):「相互行為論を学んであなたが一番重要だと思ったことを400字程度に

まとめなさい」

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習課題: 文献講読や初歩的な参与観察などの小レポートを毎回の授業の前日 19:00 までに立教時間に提出する。文献課題(課題2、3、4、5、8、9、11)の形式: 指定された文献を読んで(1)要約(2)読んでわかったこと(理解したこと)(3)読んでわからなかったこと(疑問に思うこと)を 1000 字±100 字にまとめる。授業後課題: 授業を聞いて、授業資料全体を読んで、改めて理解したことを 400~500 字にまとめ、立教時間に提出する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(46%)/授業後課題(28%)/予習課題(26%)

単位修得のためには、予習課題全ての提出と、授業後課題 10 回以上の提出を必要とする。課題の遅れて提出は減点します。

テキスト(Textbooks)

特定のテキストは使用しない。

参考文献(Readings)

1. フランシス&ヘスター／中河他訳、2014、『エスノメソロジーへの招待』、ナカニシヤ出版
2. 柳父章、1982、『翻訳語成立事情』、岩波新書
3. 那須壽(編著)、1997、『クロニクル社会学』、有斐閣アルマ
4. 船津衛、2010、『コミュニケーション・入門』、有斐閣アルマ
5. 伊藤・徳川(編著)、2002、『相互行為の社会心理学』、北樹出版
6. 前田・水川・岡田(編著)、2008、『エスノメソロジー』、新曜社
7. 長谷・奥村(編著)、2009、『コミュニケーションの社会学』、有斐閣アルマ

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

この授業は、1~6回を対面授業、7~14回をオンラインのライブ参加型(双方向)授業で行う計画です。zoomのミーティングID・パスコードは立教時間で告知します。オンラインのライブ参加授業内に、受講者に質問したり意見を求めたりします。できる限り、音声での発言ができる環境で授業に参加して下さい。毎回の予習課題と授業後課題は、コメントをつけて授業の教材として使用します。提出された課題のポイントの解説を中心に、受講者同士の意見交換も取り入れ、対話形式、受講者参加型で進めます。毎回の授業は相互に関連していますので、欠席をしないで積極的に参加することを求めます。このような授業の進め方を理解した上で、履修を決定して下さい。課題のやり取りを通して、他の人の意見にもふれながら、日頃の自分のものの見方や考え方を、これまでと違う発想を使って考え直してみたい人の参加を希望します。受講希望者は特別な理由がない限り、第一回目の授業(ガイダンス)に必ず出席して下さい。

注意事項(Notice)